

略 歴

水谷 修

1956年、横浜に生まれる。少年期を山形にて過ごす。
上智大学文学部哲学科卒業。横浜市にて、長く高校教員として勤務。
12年間を定時制高校で過ごす。

教員生活のほとんどの時期、生徒指導を担当し、中・高校生の非行・薬物汚染・心の問題に関わり、生徒の更生と、非行防止、薬物汚染の拡大の予防のための活動を精力的に行なっている。

また、若者たちから「夜回り」と呼ばれている深夜の繁華街のパトロールを通して、多くの若者たちとふれあい、彼らの非行防止と更生に取り組んでいる。一方で、全国各地からのメールや電話による様々な子どもたちからの相談に答え、子どもたちの不登校や心の病、自殺などの問題に関わっている。

その現場での経験をもとに、専門誌や新聞、雑誌への執筆、テレビ、ラジオなどへの出演、日本各地での講演などを通して、子どもたちが今直面している様々な問題について訴えている。



主要著書

- 「ドラッグ世代―第五次薬物汚染期の若者たち」 1998年2月5日 太陽企画出版
- 「さらば、哀しみの青春―伝えたい、闇に沈む子どもたちの哀しみを・・・」 2003年4月 高文研
- 「夜回り先生 水谷修のメッセージ―いいもんだよ、生きるって」 2005年1月 NHK ソフトウェア
- 「夜回り先生 水谷修のメッセージ2―生きていてくれてありがとう」 2006年4月 NHK ソフトウェア
- 「あした笑顔になあれ―夜回り先生の子育て論」 2006年6月10日 日本評論社
- 「夜回り先生のねがい―夜回り先生3」 2007年4月20日 サンクチュアリ出版
- 「あおぞらの星―夜回り先生と考える」 2007年5月20日 日本評論社
- 「いいんだよ」 2008年4月15日 日本評論社
- 「夜回り先生」1巻～10巻 IKKI コミックス 小学館
- 「あおぞらの星2―夜回り先生と想う」 2009年2月15日 日本評論社
- 「夜回り先生」2009年3月6日 小学館文庫
- 「夜回り先生と夜眠れない子どもたち」 2009年6月10日 小学館文庫
- 「さよならが、いえなくて―助けて、哀しみから 新装版」 2009年9月15日 日本評論社
- 「夜回り先生からのこころの手紙―あおぞらの星3」 2009年12月15日 日本評論社
- 「子育てのツボ―夜回り先生からの50のアドバイス」 2010年11月15日 日本評論社
- 「夜回り先生、いのちの授業」 2011年7月5日 日本評論社
- 「ありがとう」 2011年12月15日 日本評論社
- 「夜回り先生 いじめを断つ」 2013年10月15日 日本評論社
- 「Beyond―雨の向こうはいつも晴れ」 2014年3月15日 日本評論社
- 「夜回り先生 子育てで一番大切なこと」 2014年5月15日 海竜社
- 「夜回り先生、なんでドラッグを使っちゃいけないんですか？」 2015年5月25日 東山書房
- 「約束」 2015年6月15日 日本評論社
- 「優しさと勇気の育てかた」 2017年1月16日 日本評論社
- 「どこまでも生きぬいて」 2017年3月3日 PHP 研究所
- 「少数異見」 2018年3月15日 日本評論社
- 「原点」 2018年9月30日 日本評論社
- 「壊されゆく子どもたち―青少年問題論」 2019年11月15日 日本評論社
- 「たかがニュース されどニュース―報道から見える現在の日本」 2021年5月15日 第三文明社
- 「まもなく死に逝く私から、今を生きるきみたちへ―夜回り先生、いのちの講演」 2022年9月 鳳書院

※ 水谷修オフィシャルホームページ <http://www.mizutaniosamu.net/>